

U.S. Indicators

発表日: 2024年3月4日(月)

米国 製造業回復の動き足踏み(24年2月ISM製造業)

～製造業は16ヵ月間縮小も深刻な調整を回避～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel: 050-5474-7493)

24年2月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、47.8(前月49.1)と市場予想中央値49.5(筆者予想49.8)への上昇に反して、前月から1.3%低下し、米製造業の回復に向けた動きが足踏みしたことを示した。ただし、拡大した業種数は18業種中8業種と前月の4業種から増加、縮小した業種数は7業種と前月の13業種から減少しており、回復の動きに広がりが出始めた。

ISM製造業景気指数は、世界経済の減速を背景に、拡大縮小の分岐点である50を16ヵ月連続で下回っており、調整期間がITバブル崩壊後に記録した18ヵ月に迫っている。しかし、底堅い国内需要等を背景に当時よりも落ち込みが小さく、製造業は深刻な調整を回避している。

2月の構成項目別の前月からの変化では、入荷遅延が上昇した一方、新規受注、生産、雇用、在庫が低下した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、入荷遅延が前月比+0.20%ptの押し上げ寄与となった一方、新規受注が前月比▲0.66%pt、生産が前月比▲0.40%pt、雇用が前月比▲0.24%pt、在庫が前月比▲0.18%ptの押し下げ寄与となった。

2月の構成項目の水準では、入荷遅延が50を上回った一方、新規受注、生産、雇用、在庫が50を下回った。入荷遅延は需要回復の動きや1月の悪天候の影響によって50を上回った。一方、在庫が景気の先行きに対する慎重な見方を背景に50を下回っているほか、雇用は4ヵ月連続で50を下回り、これまで調整を回避してきた製造業の雇用減少が示唆された。雇用の縮小した業種数が18業種中10業種(前月9業種)となった一方、拡大した業種は4業種(前月3業種)にとどまった。

新規受注は再び50台を下回ったものの、受注の拡大した業種は、18業種中11業種と前月の5業種から大幅に増加していることから、受注回復の動きに広がりが見られる。生産は再び50を下回ったが、生産の拡大した業種は18業種中7業種(前月4業種)に増加しており、生産も回復の動きに広がりが出始めた。

サブ項目では、輸出受注DIが51.6(前月45.2)と50台を回復、輸出が拡大に転じたことを示した。一方、輸入DIは53.0(前月50.1)と一段と上昇し、米国内需要の堅調を背景とした輸入の増加ペース加速を示している。

インフレの動向を示す仕入価格指数は、52.5(前月52.9)と低下したが2ヵ月連続で50を上回り、コスト増加を示した。商品別では、アルミニウム、段ボール箱、天然ガス等が下落した一方、スチール、ポリプロピレン等が上昇した。供給不足品では、引き続き電気部品、電子部品などが挙げられた。



I S M製造業景気指数

	総合									
	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入	
23/02	47.7	47.0	47.3	49.1	50.1	45.2	45.1	51.3	49.9	49.9
23/03	46.5	44.3	47.8	46.9	47.5	44.8	43.9	49.2	47.6	47.9
23/04	47.0	45.7	48.9	50.2	46.3	44.6	43.1	53.2	49.8	49.9
23/05	46.6	42.6	51.1	51.4	45.8	43.5	37.5	44.2	50.0	47.3
23/06	46.4	45.6	46.7	48.1	44.0	45.7	38.7	41.8	47.3	49.3
23/07	46.5	47.3	48.3	44.4	46.1	46.1	42.8	42.6	46.2	49.6
23/08	47.6	46.8	50.0	48.5	44.0	48.6	44.1	48.4	46.5	48.0
23/09	48.6	49.2	52.5	51.2	45.8	46.4	42.4	43.8	47.4	48.2
23/10	46.9	46.2	50.0	47.1	43.6	47.7	42.2	45.1	49.4	47.9
23/11	46.6	47.8	48.8	46.1	44.3	46.2	39.3	49.9	46.0	46.2
23/12	47.1	47.0	49.9	47.5	43.9	47.0	45.3	45.2	49.9	46.4
24/01	49.1	52.5	50.4	47.1	46.2	49.1	44.7	52.9	45.2	50.1
24/02	47.8	49.2	48.4	45.9	45.3	50.1	46.3	52.5	51.6	53.0

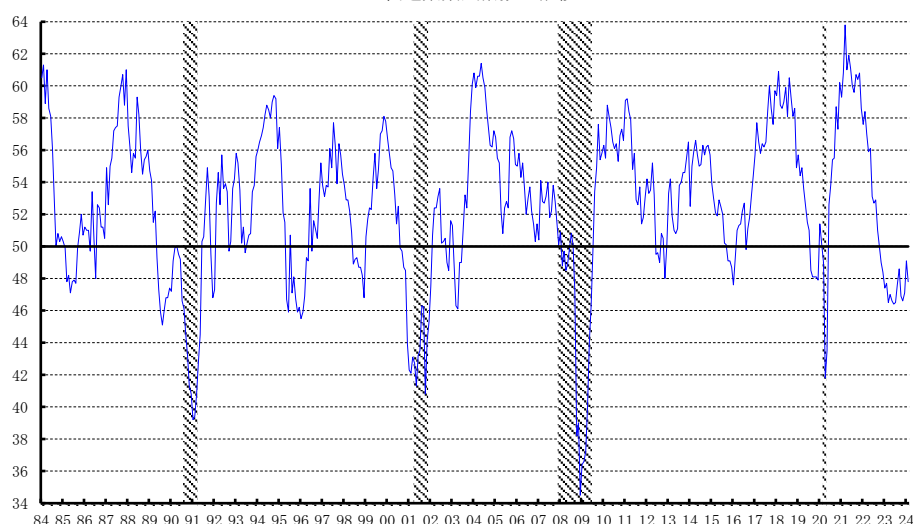
(出所) I S M : the Institute for Supply Management

2月に拡大した業種は、全18業種のうちアパレル・皮革製品、非鉄、一次金属、プラスチック・ゴム製品、加工金属、化学製品、その他製造業、輸送機器の8業種と1月の4業種から増加した（下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す）。主要6業種で成長した業種は輸送機器、加工金属、化学製品の3業種と前月の2業種から増加した。

一方、縮小した業種は、家具・同関連、一般機械、木材製品、コンピューター・電子機器、食品・飲料・タバコ、紙製品、電気設備・部品の7業種と前月の13業種から減少した。石油・石炭、繊維、印刷・関連サポート活動は前月と変わらずとなった。

先行きに関して、金融環境の引き締めによる世界的な需要鈍化の影響によって、24年前半も製造業部門は調整を継続すると見込まれる。しかし、自動車の生産拡大が期待できるほか、在庫調整の進展を背景に、製造業部門は徐々に調整幅を縮小すると予想される。

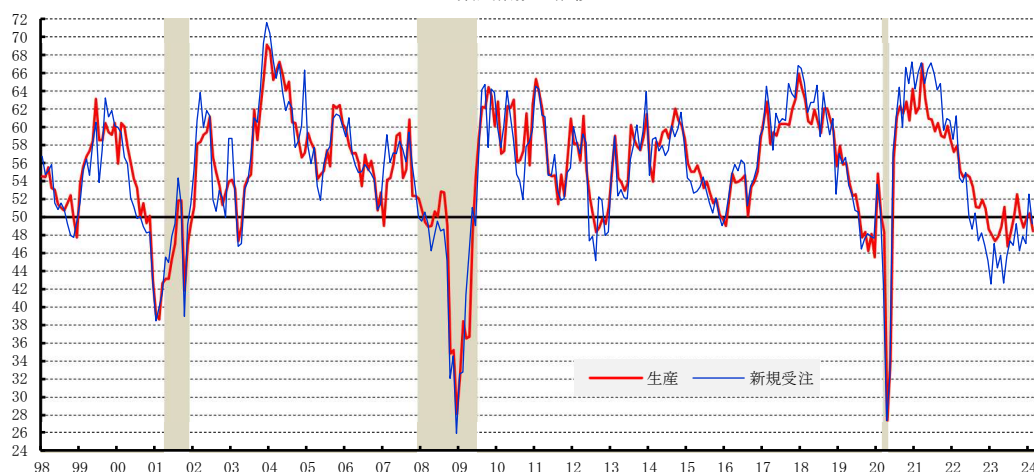
I S M製造業景気指数の推移



(出所) I S M

(注) シャド一部は景気後退期。

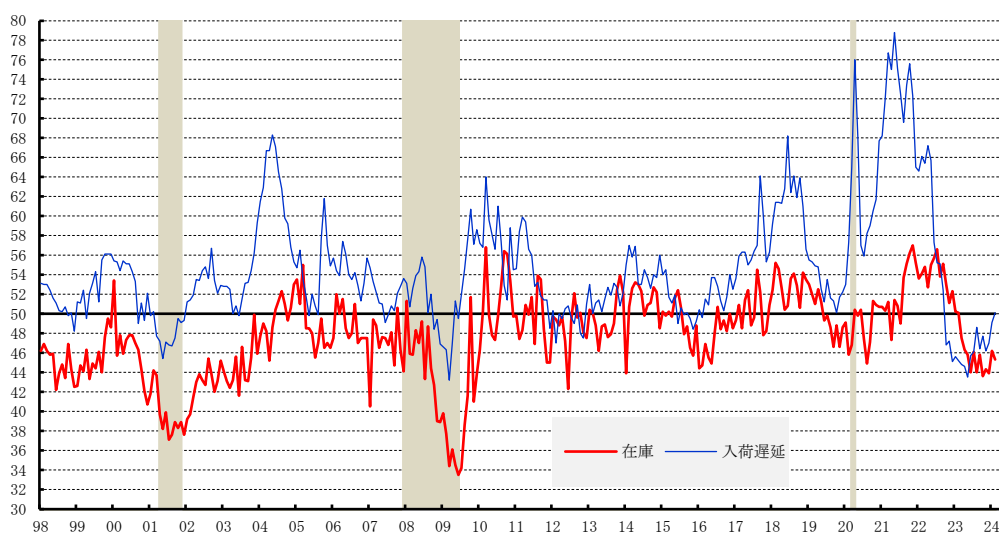
ISM景気指数の推移



(出所) ISM

(注) シャド一部は景気後退期

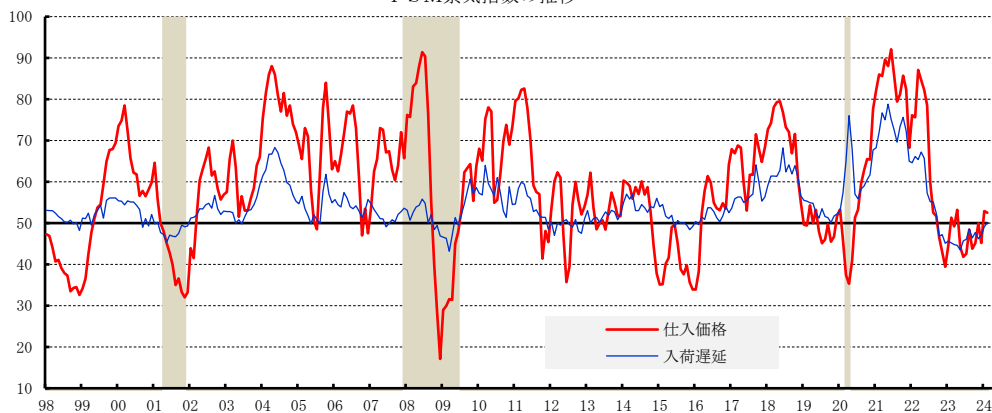
ISM景気指数の推移



(出所) ISM

(注) シャド一部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) ISM

(注) シャド一部は景気後退期

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

